

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名	京のアジェンダ21推進事業	所管局部課等	環境政策局地球温暖化対策室
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-7-0-0-0.html	(連絡先)	222-4555
		(評価票作成者)	「DO YOU KYOTO?」プロジェクト推進担当課長 上田 誠

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性 縮小等による 見直し	24予算額 (千円)	目標達成度評価
22,058	20,634		17,132	指標： 温室効果ガス排出量削減量（平成2年比） かなり悪い 悪い 普通 良い かなり 0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%110%120% H20年度 H21年度 H22年度
業務運営方法	☐ 直営 ☒ 部分委託 ☐ 部分補助等 ☐ 全部委託 ☐ 全部補助等	委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容 (委託先) 京のアジェンダ21フォーラム (委託内容) 京のアジェンダ21推進事業の委託		
実施根拠 (法令、条例、規則、要綱等)	京都市地球温暖化対策条例 京都市地球温暖化対策計画（2011-2020） 京のアジェンダ21			事務事業の性格 ☐ 義務的事業 ☒ 任意的事業 類型 11 その他
開始時期	平成 9 年度	終了(予定)時期	平成 年度	会計区分 ☒ 一般会計 ☐ 特別会計

事業概要	対 象	(誰を、何を) 市民及び市内で事業活動を行う事業者等
	活 動 内 容	(どのような手段で) 環境と共生する持続型社会への行動計画「京のアジェンダ21」の普及啓発、実践活動の推進を行うため、市民・事業者参加のパートナーシップ型推進組織「京のアジェンダ21フォーラム」の運営、同組織の活動による三者協働のもとでの広報活動、その他事業推進に係る調査研究を行う。
	目 的	(どのような状態にしたいのか) 次の3つの基本方針のもと、環境保全を基本としながら、地域のコミュニティーの活性化、伝統の継承と新しい産業や文化の創造といったような豊かなまちづくりにもつながる持続可能な都市づくりをめざす。 ①京都の特性を活かした生活様式と事業活動をつくる。 ②環境と共生する物・エネルギーの循環システムをつくる。 ③環境にやさしい交通と物流システムをつくる。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)	21,473	18,563	22,058	20,634	17,132
		その他	10	10	10	10	10
	①'	委託料 パートナーシップ推進事業	21,463	18,553	22,048	20,624	17,122
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)	100.0%	99.9%	100.0%	100.0%	99.9%
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)	17,693	17,431	14,057	4,825	5,846
		職員(課長級) (人)	0.20	0.20	0.20	0.10	0.10
		職員(課長補佐級、係長級) (人)	0.40	0.40	0.35	0.20	0.30
		職員(係員) (人)	1.30	1.30	1.00	0.20	0.20
		嘱託職員等人件費 (千円)					
	④	年間経費 (①+③) (千円)	39,166	35,994	36,115	25,459	22,978
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)					
		国庫・府支出金 (千円)					
		受益者負担分(使用料、手数料等) (千円)					
		その他() (千円)					
	⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)	39,166	35,994	36,115	25,459	22,978
	⑦	受益者負担率 (受益者負担分÷④) (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Ⅱ 評価結果

事業名 京のアジェンダ21推進事業

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 目標達成度	指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
指標1	温室効果ガス排出量削減量（平成2年比）	目標値 …①	万t-CO2	77	77	77	193	193
		実績値 …②	万t-CO2	90	164	集計中		
		目標達成度（②÷①）	%	116.9%	213.0%	#VALUE!		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標	評価	かなり良い	かなり良い	#VALUE!		
指標2		目標値 …①						
		実績値 …②						
		目標達成度（②÷①）	%					
	指標の種類		評価					
			総合評価					

指標の選択理由				目標値設定の考え方			
指標1	京都市地球温暖化対策条例において、温室効果ガス排出量を平成22（2010）年までに平成2（1990）年レベル（772万t）から10%（77万t）削減することとしている。			「京都議定書」誕生の地である本市として、同議定書に定められた我が国の目標（6%削減）よりも高い目標を掲げている。			
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名		適用年度		単位	
指標2							
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名		適用年度		単位	
分析	<実績値の変動理由等> 平成21年度の実績値（平成23年7月に確定）は、平成20年度に引き続き、原油価格の高騰や金融危機の影響に伴う産業、運輸などの各部門からのエネルギー消費量の減少、電力の排出係数の改善等によって、削減量が大きく増加した。 なお、平成22年度実績値は未確定であるため、適正な評価はできない。						

B 効率性	No.	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度
	①	温室効果ガス排出量削減量（平成2年比）	万t-CO2	90	164	集計中
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）	千円	39,166	35,994	36,115
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	435,177	219,475	#VALUE!
	④	単位当たり経費変動率			-49.6%	#VALUE!
			評価	かなり良くなった	#VALUE!	
分析	<コスト変動の理由等> 平成20年度と比べ、平成21年度の温室効果ガス削減量が増加したため効率性が良くなった。 なお、平成22年度実績値は未確定であるため、適正な評価はできない。					

C 市民参加度	企画段階	☒ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☐ 無	<現状分析、今後の方針等> 市民、事業者、行政の協働組織であり、企画段階、実施段階においても、協働で運営している。フォーラム会員を拡大し、更に市民等との協働による事業を進める。	
	実施段階	☒ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☐ 無		
	評価段階	☐ 高 ☒ 中 ☐ 低 ☐ 無		
D 市民満足度	<調査の有無> ☐ 有 ☒ 無 ☐ 該当しない		<調査結果、現状分析等>	
	<調査方法>	<調査時期>		
E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	☒ 環境 ☐ 関連 ☐ 一般		<現状分析、今後の方針等> 本事業により、地球温暖化対策に資するKES認証制度、省エネラベル、京グリーン電力制度等の新たな取組を創出しており、今後とも先駆的な取組を展開する。	

平成23年度の実施状況	平成23年度に新たに策定した「京のアジェンダ21」（発展・補強版）に基づき、重点的に取り組むべきリーディングプロジェクト（既存住宅のエコ化、再生可能エネルギーの普及、交通と観光のエコ化）や京都環境コミュニティ活動（KESC）事業等を実施した。
-------------	---

市会・監査・外部機関等からの指摘	特になし
------------------	------

Ⅲ 今後の方向性

(今後の方向性の理由及び具体的な内容)	
縮小等による見直し	他事業との類似・重複を見直し、事業の整理を図る。 平成23年度に策定した「京のアジェンダ21（発展・補強版）」に基づき、新たなリーディングプロジェクトを中心に事業を実施する。